

第 39 回日本脳神経血管内治療学会学術集会 (JSNET2023) 参加報告

柏葉脳神経外科病院 瀧口 直子

柏葉脳神経外科病院 瀧口 直子です。

今回は、脳神経血管内治療学会の CEP の講演を依頼されました。

初めての JSNET です。

しかも、秋の京都です。紅葉です。連休です。人がいっぱいです。

で、“CEP”って何ですか？

“Continuing Education Program”略して“CEP”「継続的な教育プログラム」だそうです。

技師さん向けの「脳血管描出のための CT, MRI の適切な画像取得について」ということで、完全なるアウェーを感じながら血管内治療学会で CTA の講演をさせていただきました。

アウェーだけど、「造影剤使っているし、MRA よりは血管内治療に近いか」って勝手に思いながら講演しました。

お話しさせていただいた内容は、「脳血管 CTA のプロトコル設定について」ですが、私の十八番である「CTA で穿通枝を見るためにはどのようなパラメータ設定が必要なのか」ということについてお話しさせていただきました。

「血管内治療学会」なので、普段から血管造影に携わられている方が多い中、「CTA なんて大した見えないじゃん」とは思われなくなかったので、まあまあ頑張ったつもりです。

ただ、実際には「ここはやっぱり CT では無理だよ」っていうような症例に遭遇することも事実です。

特に脳血管では AVF のシャントポイントの描出などは、CTA ではまだまだ難しい部分がありますし、「治療」ってことを考えると、血管造影も勉強しておくことも大事だってことを痛感しました。

研究発表も臨床に直結する内容ばかりだったので、すぐに役立つような知識が盛りだくさんでした。

当院のような単科の施設に勤めている限りは、「CT だけわかっていればいい」なんてことではないので、これからはこういった学会にも積極的に参加したいと思いました。

何といっても、懇親会が非常に豪華で、近大マグロ解体ショーがあり、近大キャビアがあり、京野菜があり、極上ローストビーフがありました。

ハイ、一通り食べましたよ。



近大マグロ解体ショーと秋の京都